

工作機械内衝突防止システム

-デジタルマニファクチャリングに関する研究-

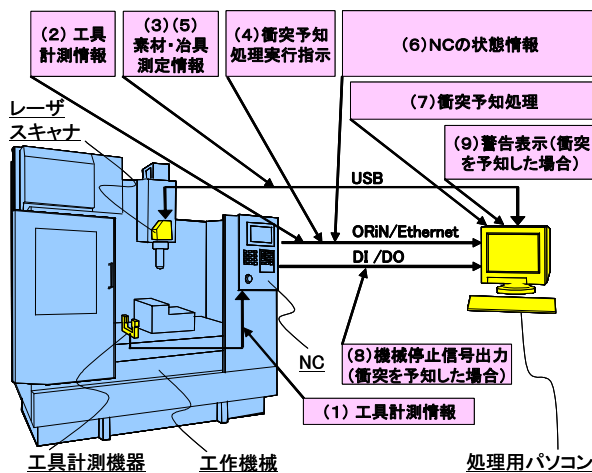
●背景

- ・ 工作機械の衝突防止方式として、シミュレーションがあるが、事前作成モデルによる検証ため、段取りミスが検証できない。

●目的

- ・ 段取り後の素材、治具、工具を実測し、NCの状態などと照合して衝突予知する**工作機械内衝突防止システム**を提案

●研究概要



(特長)

段取り間違いやワーク寸法間違いにも対応
(レーザスキャナで素材・治具を実測)

異メーカー、新・旧工作機械に適用可能
(標準技術(ORiN)を活用することで実現)

既設工作機械に後付け設置が可能
(設置時にNC装置のラダー変更や配線変更などが不要)

●研究成果

- ・ 企業から実用化要望があり、「**工作機械内衝突防止システムの実用化に関する研究会 (6社参加)**」を発足し、製品化検討中



財団法人 機械振興協会 技術研究所



パルステック工業 株式会社



株式会社 ブルームLMT



アドー・ジャパン 株式会社



株式会社 ソフィックス



フジ 株式会社



本システムは一般財団法人 機械振興協会 技術研究所が、

競輪の補助により実施した研究成果の一部です。

お問い合わせ先： 企画管理室 (担当：木村利明)
TEL：042-475-1155 FAX：042-474-1980
kimura@tri.jspmi.or.jp

